

神奈川県横須賀市「下町浄化センター」にBT-D工法採用

「下町浄化センター」は横須賀市に2番目にできた下水処理場で、昭和44年から運転を開始しております。この処理区域は広く三浦半島特有の丘陵と谷戸があり組んでいる地形の為、合計14箇所の中継ポンプ場から汚水を集めております。ここでは23万2千人の汚水を処理（標準活性汚泥法）し、きれいになつた処理水を滅菌後東京湾に放流しています。

今回の受注の経緯は以前から建築資材等で取引きがあった、この工事の元請、馬淵建設様の本社購買部より現場紹介をいただき、現場仮事務所開設時から折衝を進め、工法のPR見積書提出までスムーズに営業展開する事が出来ました。

見積は当社を含め4社が参加しており、本社購買部への一発価格回答という中で㈱ダイフレックスと一緒に、他社の情報・仕様の見直しを含めた価格検討を重ね、価格的には大変厳しいところもありましたが、部位によりレジテクトの各工法を使い分ける仕様で見積もりを行い、お陰様で受注する事が出来ました。

工事は、7月18日より着手し、現在最盛期を迎えており、半分近く完了しているところです。来年3月の竣工に向けて気を緩めることなく、良いものが出来るよう頑張っていきたいと思います。

株式会社ナスコ
専務取締役 清水 良雄



【工事概要】

| | |
|--------|---|
| 工事名称 | 下町浄化センター水処理棟建築工事 |
| 工事場所 | 神奈川県横須賀市平成町3-2 |
| 発注者 | 横須賀市上下水道局 |
| 元請 | 馬淵建設株式会社 |
| 工期 | 平成19年1月24日～平成20年3月14日 |
| 防食施工会社 | 株式会社ナスコ |
| 施工内容 | B種 (ポリテックB工法) 3,785m ² C種 (ポリテックC工法) 3,070m ² D1種 (レジテクトBT-D工法) 1,260m ² |

大きな空間を手順良く施工していきます



波瀬ノ浦橋橋脚補強工事 SRS工法の表面保護材としてCVスプレーを試験施工

波瀬ノ浦橋は、佐賀県藤津郡多良町の国道207号線（佐賀県鹿島～長崎県諫早）に架かる橋梁です。本橋は1974年竣工の古い橋で、古い基準の耐震設計（昭和31年）によって設計されていました。そのため橋脚中間部に段落としを有しており、曲げ耐力が不足していました。そこで、橋脚段落とし部の耐震補強をSRS工法（ポリマーセメントモルタル吹付け耐震補強工法）にて行い、地震時水平耐力の向上を図る事とし、施工は㈱さとうベネックとアイテク㈱によって行われました。

今回SRS工法としては初めて、露出するポリマーセメントを保護する為、表面保護としてCVスプレーをライニングする提案を行い試験施工実施となりました。

鋼板巻立てでの耐震補強工での実施例はありましたが、SRS工法での採用を得る為の試験施工です。

評価は今後の事となりますが、夏場のポリマーセメントの吹付けは乾燥が早い為に養生が難しくクラック（ヘーキング）の発生が予測されますが、表面をライニングする事により以降の保全に繋がる物と思われます。

橋脚の耐震補強工事は今後も続く工事であり、工法も鋼板巻立て・RC巻立て・連続シート巻立て・PP工法等色々ありますがCVスプレーのライニングを是非進めて参りたいと考えています。



福岡営業所 所長 SVリーダー 大西 政幸

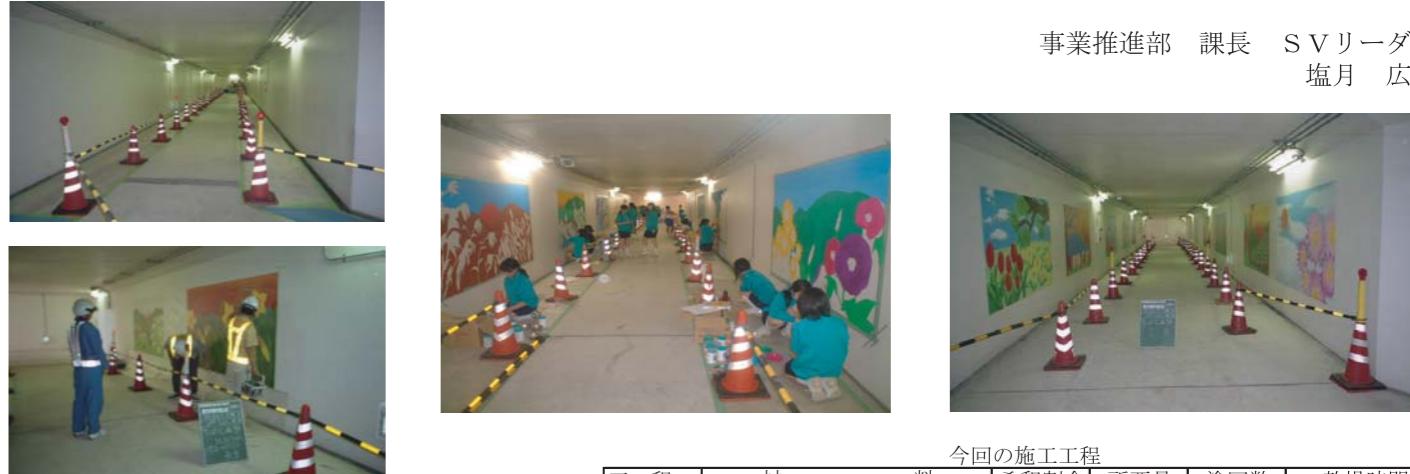
セラゼックス（恒和化学製品）が落書き防止に威力を発揮!!

セラゼックスRVクリヤー（落書き防止塗装）岐阜県高山市で採用

以前から岐阜県高山市は観光地のため、景観・美観を守って来ましたが、最近一部の心無い人により道路、壁、地下通路に落書きが多くされるようになりました。景観・美観が損なわれてきました。国道を管理する、国土交通省 高山国道事務所では、落書き防止対策に苦慮していました。今回、SQSSA新会員になりました、豊橋市の㈱齊藤塗工店は、以前から高山国道事務所に無機・無溶剤塗料のPR活動を行っておりましたが、この度、落書き防止塗料としてダイヤセラゼックスRVクリヤーが採用になりました。

施工場所は国道41号線へのアクセス道路で新設された学童も普段利用する地下通路です。高山国道事務所と高山市役所が共同提案で地元中学校の美術部員30～40名に製作を依頼し、この夏休みの初めに、地下通路内壁に水性絵の具で地元の四季の花の絵を描いてもらいました。そして、その上に落書きをされても壁面を傷付けずに落書きを除去出来る、落書き防止塗料（ダイヤセラゼックスRVクリヤー）を塗装しました。そして、この工事結果は地元と高山国道事務所より高い評価を頂きました。写真でもお判りのように、地下通路のイメージが見事に生まれ変わり、子供達にも安心して利用できる通路になりました。また、落書き除去にはアルコール系の専用除去剤を使用しております。

事業推進部 課長 SVリーダー 塩月 広行



今回の施工工程

| 工 程 | 材 料 | 希釈割合 | 所要量 | 塗回数 | 乾燥時間 |
|-----------|--|--------------|-----------------------|-----|--------------|
| 下地処理 | 既存壁面吹付けタイルゆず肌模様に水性アクリル塗料が塗装している面を洗浄した。 | | | | |
| 絵画描画 | 水性絵具（ターナーカラー（㈱製） | | | | 1日～3日以上乾燥させる |
| シーラー（水系） | ダイヤワイドシーラー | 1.5kg | 0.15kg/m ² | 1 | 24時間以上 |
| シーラー（溶剤系） | ダイヤローレルPSシーラーS | 1.4kg 1kg | 0.1kg/m ² | 1 | 1時間以上 |
| クリヤー | ダイヤセラゼックスRVクリヤー | 12kg 4kg | 0.09kg/m ² | 1 | |

レジテクト工法 東京都港湾局の新技術登録!!

レジテクト各工法が東京都港湾局の新技術に登録されました。登録内容のポイントは右表の通りです。

レジテクト工法の持つ特徴が港湾施設の広い範囲で表面被覆・保護・防水材料として評価されております。

東京都港湾局で登録された実績は日本国内の各地域でも参考にされ、同様の評価を受ける事になりますので、今後の営業活動にお役立て下さい。なお、詳細は事業推進部までお問い合わせ下さい。

事業推進部
担当 本谷 拓朗

| | | | | |
|----------------|--|----------|------|------|
| 新材料・新工法名 称 | レジテクト工法 | | | |
| 副題 | 表面被覆・保護・防水 | | | |
| キーワード | コスト縮減・ 生産性の向上 | 品質の確保・向上 | 長寿命化 | 軸体保護 |
| 開発目標 | 耐久性の向上 | 品質の向上 | 長寿命化 | |
| レジテクト工法 の特徴 | ① 下地との接着力が極めて強い。 ② 優れた遮水性・遮塞性。 ③ 複雑な形状にもシームレスな防水・被覆層を形成。 ④ 耐磨耗性に優れモルタルの5倍以上を有する。 ⑤ 瞬時に硬化する為施工能力が高い。 ⑥ 無機材料に比べ冬季施工に強い。 ⑦ 20mm以上のクラック追随性を有する。 ⑧ 次期補修時の下地処理費用が低減。（次回は簡単な下地処理で塗り重ね可能） | | | |
| 【港湾局事業への適用性】 | (1) コンクリート・鋼構造物地下外防水(CVスプレー工法) ・新設コンクリート構造物（共同溝、地下駐車場、沿岸構造物等） の地下防水、防錆 ・沿岸鋼構造物、航路浮標への塗装 (2) コンクリート橋剥落対策、塩害対策 (RT工法) ・コンクリート橋の剥落対策 ・沿岸構造物等の塩害対策 (3) 道路橋床版防水 (WG工法) | | | |